

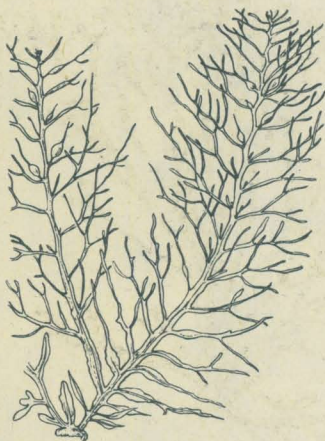
第 3153 圖

ひばまた科



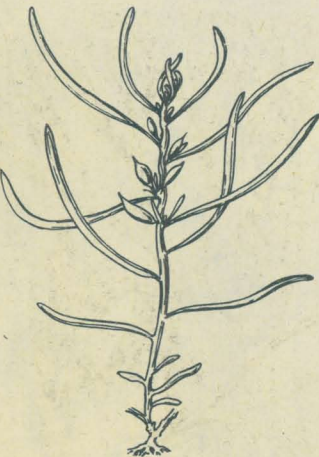
第 3154 圖

ひばまた科



第 3155 圖

ひばまた科



うみとらのを

一名 とらのを・ねずみのを
Sargassum Thunbergii

(Mertens) O. Kuntze.

體ハ比較的小サク、高サ15-50cm許アリ。根ハ平タキ盤状ニシテ、ソレヨリ短キノ柱状ノ莖ヲ發シ、コノ莖ハ直ニ數本ノ主枝ニ分ル。主枝ハ小サキ鱗片状ノ葉竝ニ短キ側枝ヲ以テ密ニ稍覆瓦状ニ被ハル。通常主枝ノ上部ニ至ルニ從ヒ、側枝ハ稍疎ニ且ツ長クナリ、葉ハ細長ク、披針状ノ線状等ヲ成ス。此等ノ側枝ノ疎トナリ且ツ著シク長ク伸ビタル形ヲおほとらのを (f. *Swartzianum* Okam.) ト稱ス。氣胞ハ紡錘形ニシテ先端尖リ、生殖器托ハ略圓柱状ニシテ通常數箇宛葉腋ニ集リ生ズ。本種ハ分布頗ル廣ク、北海道以南琉球ニ至ルマデ産シ、淺所即チ特ニ干満線間ノ上部ニ群生ス。

やつまたもく

Sargassum patens C. Agardh.

根ハ盤状ニシテ地物ニ固著ス。體ノ長サ約1m、莖及主枝ハ扁壓ニシテ兩縁ニ薄ク、屢々羽状ニ分岐ス。葉ハ體ノ基部附近ニ於テハ單一又ハ互生ニ分裂シ、幅比較的廣ク、全邊又ハ少シク鋸齒ヲ示ス。上部ノ葉ハ下部ノモノヨリ狭ク且ツ長ク、互生ニ分裂ス。氣胞ハ球状乃至橢圓形、頂ニ單一又ハ分岐セル細キ葉ヲ冠ス。生殖器托ハ稍圓柱状ニシテ小枝端ノ附近ニ羽状ニ二列ニ、一平面上ニ排列サル。本州中部ヨリ以南ニ産シ、干満線間並ニソレヨリ深所ニ生ズ。本種ニ近似セルモノニまめだはら (*S. piluliferum* C. Ag.) アレドモ、葉更ニ狭ク、且ツ氣胞ハ圓頂ニシテ長キ柄アルヲ以テ區別セラル。

ひじき

Hizikia fusiforme

(Harvey) Okamura.

體ハ30-100cmニ達シ(著シク長クナレルモノハ1mニ達ス)、纖維状根ヨリ發ス。莖ハ圓柱状ニシテ太サ2-4mm許、各方面ニ小枝竝ニ葉ヲ出ス。葉ハ外形種々ニ變化シ、或ハ圓柱状、8-15cm長ク、兩端稍細マリ、或ハ短ク、棍棒状ヲ成シ、先端膨レテ中空ノ氣胞トナレリ。氣胞ハ多ク紡錘形ヲ成ス。生殖器托ハ小サク略棍棒形ヲ成シ、小枝ノ腋ニ集リ生ズ。體ハ生時黄褐色ヲ成スモ乾燥スル時ハ黒變ス。北海道南部ヨリ九州ニ至ル沿岸ニ産シ、干満線間ノ上部ニ多シ。食用ト成ス。上記ノ、小枝ノ先端膨ミテ氣胞ヲ成スモノヲふくろひじきト稱ス。

じょろもく

Cystophyllum sisymbrioides

J. Agardh.

體ハ長サ1m又ハソレ以上ニ達ス。根ハ小盤状ヲ成シテ地物ニ固著シ、莖ハ扁圓ニシテ其兩縁ヨリ多數ノ枝ヲ羽状ニ發出ス。枝ハ扁壓、葉ハ線状、長サ20-30mm許、氣胞ハ枝ノ上部ニ多ク生ジ、橢圓形又ハ紡錘形ニシテ頂ニ小葉ヲ有ス。生殖器托ハ略圓柱状ニシテ枝ノ上部ニ總状ヲ成シテ生ズ。三陸邊ヨリ以南九州邊マデ産シ、干潮線邊及ビソレヨリ深所ニ生ズ。此ノ種ニ近似シテ全體稍細形ニシテ氣胞ノ球形ヲ成スモノアリ、ひえもく (*C. Turneri* Yendo) ト稱ス。

えぞいしげ

Pelvetia Wrightii

(Harvey) Yendo.

體ノ概形下記ひばまたニ類スレドモ體ノ幅狭ク且ツ中肋ヲ缺ク點ヲ以テ明ニひばまたト區別スルコトヲ得。氣胞ハ體ノ上部橢圓形乃至紡錘形ニ膨レテ成レルモノニシテ、f. *Babingtonii* Yendo, f. *japonica* Yendo 等ハ之ヲ有シ、f. *typica* Yendo ト稱スルモノハ通常氣胞ヲ有セズ。體ハ丈夫ニシテ生時暗緑褐色ヲ呈シ乾燥後黒變ス。三陸ヨリ北海道沿岸ニ普通ニシテ時ニ更ニ南部ニ見ラルルコトアリ。干満線間ノ上部ニ繁茂ス。

ひばまた

一名 ひばつのまた・かるまた
Fucus evanescens C. Agardh.

體高20-40cm許、小盤状根ヲ以テ固著ス。基部附近ヲ除キ扁平、ばんど状、幅1-2cm内外、中肋ヲ通ジ、中肋ハ多ク枝ノ先端下ニ於テ消失ス。規則正シク線返シ又狀ニ分岐シ、一平面上ニ擴ガリテ扇状ヲ成ス。生殖器托ハ枝ノ先端附近ニ生ジ、ブツブツト小キ膨レノ如キ部ヲ多數生ジ、ソノ下ニ生殖窠ト稱スル孔アリ、内ニ卵竝ニ精蟲ヲ生ズ。生殖時期ニ達セル體ニハ中肋ノ部ノミ残り、ソノ兩側ノ扁平ナル部ハ殆ド缺ケタルヲ普通トス。體質極メテ丈夫ニシテ生時暗褐色ヲ呈シ乾燥後ハ黒變ス。北海道東岸並ニソノ以北ニ普通ニシテ干満線間ノ上部ニ群生ス。體形、特ニ生殖器托ノ形状ニヨリ種々ノ異形アリ。

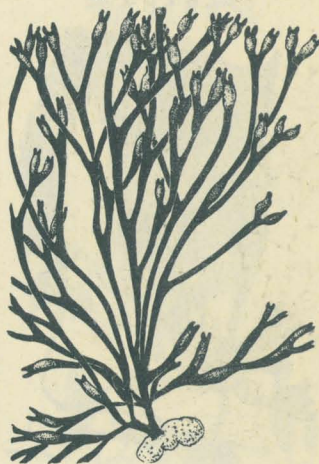
第 3156 圖

ひばまた科



第 3157 圖

ひばまた科



第 3158 圖

ひばまた科

